

少しずつ雪も消え始め、日差しも暖かく感じる日も増えてきました。二月に入ってから間もなくインフルエンザや胃腸炎が流行り出し、いつもは賑やかな学童の部屋も静かで寂しい日が続きました。

今年度も残すところ一ヶ月となります。四月当初、スポ少に入って頑張ると張り切っていたり、勉強が難しくなると不安をもらしていた子ども達でしたが、今ではしっかり自分のペースで取り組んでいる姿に逞しさを感じています。そして、今年の学童は子ども達が自分の意志で考えて行動をしようとする気持ちを大事にし、大人があれこれ口を挟む事を控えてきました。その代わりに自分達でルールを作る話し合いの時間が増えた年でした。その話し合いに職員が困った事なども時には投げかけ、どうしたらいいのか一緒に考えた事もありました。友達とのトラブルも同じように沢山話し合いをし、その積み重ねで友達に自分の気持ちをしっかりと伝えられたり、誤解が解けたり。緊張した表情をしながらも頑張っている話し合いを重ねていました。最近の学童ではトラブルがあっても上級生が中に入り話を聞いてくれる場面が度々あります。その姿に嬉しく思いました。



友達と協力してパネルを高く積み上げるゲームは椅子や脚立も使いドキドキです。



牛乳パックを並べてボーリングが始まりました。「今度学童でボーリング大会やりたいな」と話をしていましたよ。



「今日のおやつは何にしようかな」
学校から帰ってからのリラックスした時間です。



園児から慕われ、いつも制作のお手伝いをお願いしていました。

